

見附市立学校配置等検討委員会 学校視察

令和6年6月27日（木） 13：00

見附市役所 正面玄関前集合

見附市立学校配置等検討委員会
6月27日（木）学校視察日程

13:00 見附市役所 正面駐車場 集合

自家用車は、正面駐車場に駐車していただいて結構です。
正面玄関から続く階段付近にバスが停留しています。
到着順にご乗車ください。

（13:05 出発）

↓

13:10 見附小学校

大規模校の施設見学、授業参観（ミニ授業・5限授業）、特色紹介
（14:05 出発）

↓

14:15 見附第二小学校

小規模校の施設見学、複式を含めた授業参観（5限授業）、特色紹介
（15:10 出発）

↓

15:25 西中学校

校舎内外の老朽状況の視察
（15:55 出発）

↓

16:00 見附市役所

解散

※ 都合により、視察箇所が変更となる場合があります。

①見附小学校

12:30 給食（各教室）
12:50 片付け
13:10 昼休み
13:35 ミニ授業（15分間）
13:50 5限開始

②見附第二小学校

12:30 給食（ランチルーム）
12:50 片付け・学活連絡等
13:10 昼休み
掃除・漢字テストなど
14:15 5限開始

見附第二小学校の特色と複式学級のよさ・難しさ

見附第二小学校 校長 下村 芳明

1 特色

当校は、児童数28名、市職を含め職員数10名。令和5年度1学級減で完全複式の3学級と特別支援学級1学級の計4学級で職員1名減。生活指導案件は少ない。通常学級に特別な支援を要する児童は少なからずいる。

令和6年度も、「楽しい・美しい・鍛え合う学校」を目指し、前年度までの成果を基盤に、地域の教育資源、小規模校のよさ・強みを生かし、職員全員で全児童を育てる構えを大切に教育活動に取り組んでいる。特に、見附第二小でしかできない、見附第二小だからできる活動を推進している。

- ①臨海教室、②スキー教室。保護者ボランティアの協力を得ると共に、予算を傾注して行っている。海があり雪が降る新潟県だからこそ取り組みたい、取り組むべきと考える活動である。
- ③杉沢の森探検、④サケの稚魚放流。地域の方々の協力のもと地域の教育資源を生かした、感性の高まりを目指した教育活動である。
- ⑤異学年での合同体育、全校体育。先輩の動きを見て学び、後輩の頑張り、よさを認めることができています。
- ⑥3年生から参加する委員会。様々な場面で多くの役割を経験し企画力・表現力を高めることができています。

2 取組

(1) 一般的な「ずらし」 ※ 全国へき地教育研究連盟編集 令和5年版実践事例集P145より引用

段階	A学年の学習活動	わたり	B学年の学習活動	段階
問題把握	○前時の学習を想起する。 ○課題をつかむ。 ○解決のための見通しをもつ。 (結果の予想、解決の方法等)	直接指導	○前時の学習のまとめを利用して練習問題や応用問題・発展問題に取り組む。 ○本時の学習への意欲につながる疑問や課題をもつ。	習熟・応用
解決努力	○一人で解決に取り組む。 ○ペアまたはグループで確かめ合う。 ○自分の考えを書き留めておく。	関節指導	○課題をつかむ。 ○解決のための見通しをもつ。 (結果の予想、解決の方法等)	問題把握
定着	○解決の過程と結果を発表する。 ○それぞれの考えを意見交換し、自分の考えを見直す。 ○学習のまとめをする。	直接指導	○一人で解決に取り組む。 ○ペアまたはグループで確かめ合う。 ○自分の考えを書き留めておく。	解決努力
習熟・応用	○まとめた結果を利用して練習問題や応用問題・発展問題に取り組む。 ○次時の学習への意欲につながる疑問や課題をもつ。	関節指導	○解決の過程と結果を発表する。 ○それぞれの考えを意見交換し、自分の考えを見直す。 ○学習のまとめをする。	定着

☆【メリット】職員の力量アップ。【デメリット】教材研究を2学年分行う時間が必要。

(2) 単式で授業できるような指導計画の作成

○ 国語以外は、単式学級の形で授業を実施している。

- ・AB年度方式(社会・生活・理科・総合的な学習の時間) 令和6年度社会4・5年、理科3・6年の学習。
- ・圧縮方式(外国語・外国語活動) 2年分の内容を1年で終わらせ、2年間行う。
- ・学年部内容混合AB年度方式(音楽・図工・家庭・道徳)
- ・級外とのTT(算数)
- ・1・2年と3～6年[2時間]、全校[1時間](体育)

☆【メリット】・少人数学級として授業ができる。【配慮事項】・4年理科を3年で学習する時、補習が必要。

(3) 得意分野の授業ができる一部教科担任制の構築

○ 理科・音楽・図工・家庭・体育で実施している。

☆【メリット】・担当者は知識・技術がある。【配慮事項】・得意分野の見極め・出入教の組み合わせの工夫。

3 その他

授業時数を文部科学省の通知基準に合わせ、金曜を週1時間減の5限にした。また、2・3学期は日が暮れるのが早いので、安全面を考慮して月曜～木曜6限15:15下校、金曜5限15:15下校と校時表を編成した。